

伸・魅力通信

「根っこ」「土台」「出口の姿」を確認した幼小中一貫教育研修会(その5)

パネルディスカッションの中で、先生方からたくさんの質問・疑問をいただきました。その質問・疑問を幼児教育アドバイザーの深田勝先生と、パネリストの若葉幼稚園教諭鈴木智代先生に答えていただきました。

Q1 やるべきことをどのように取り組ませているのですか？

A 取り組ませるという観点より、取り組みたくなる工夫を考えています。信頼関係をベースにしなが、取り組むべきことに子供が魅力を感じられるように環境援助をしています。

Q2 特性がある子供に対してどう支援や声掛けをしていますか？

A 子供の特性や傾向を理解し、関わり方を検討しています。例えば、個別の支援計画を立てる支援会議を行い、具体的な手立てを考えています。手立ては、その都度振り返り、効果的であった手立てを継続するようにしています。興味があるところを手掛かりにして、特性に合わせてスモールステップで時間をかけて丁寧に育ちを支えています。



Q3 幼児の見取りについて教えてください。

A 子どもの表われをありのまま受け止め、子供たちの表情や態度から心の状態を見取っていきます。その際、子どもの表われだ

けでなく、背景となる家庭での様子なども考慮しています。

Q4 スケジュール管理はどのようにしていますか？

A 年長児になると月初めや週初めに見通しをもてるよう、行事等の確認を子供と一緒に行っています。1日の流れは、必要に応じて「朝のひととき」や「帰りのひととき」を行います。その際、見通しをもって過ごすためにはどのように行動したら良いのかを、その理由も含めて子供たちと一緒に確認しています。

Q5 先生(保育士)一人で、見取りができるのですか？

A 園内での職員の連携を大切にしています。自分のクラスの子供だけでなく、別のクラスの子供たちも一緒に見取る意識をもつようにしています。子供の心の変化や態度、表情など、良いことや気になること含め、気付いたことは、職員間で伝え合うようにしています。つまり、園全体で全ての子供たちを見取るようにしています。

Q6 時間割はありますか？

A 小中学校のような細かい時間割はありません。おおよそ、登園(8:30)→自分の思いで遊ぶ(支度完了～11:00)→昼食(11:30～)→自分の思いで遊ぶ(昼食完了～13:00)→帰りのひととき→降園(14:00)という1日の流れがあります。行事や、遊びの様子によっては、クラスで集まって話し合うこともあります。



